

日 程 表 (第2日目 11月8日 (金))

時間	会場：1F 大ホール		座長
9:00	A-4 卵巣明細胞癌の病理診断をめぐる基礎的考察：培養細胞を用いて 加藤 哲子 (弘前大学医学部附属病院病理部)		三上 芳喜 (熊本大学病院)
9:40	B-2 特発性多中心性 Castleman 病と TAFRO 症候群の病理像 - 節性病変と節外性病変 - 黒瀬 望 (金沢医科大学臨床病理学)		佐藤 康晴 (岡山大学)
10:00	学術研究賞表彰式 (A-1 ~ A-4、B-1 ~ B-2)		
10:20	シンポジウム 2 「基礎研究医養成活性化プログラム」 SY2-1 病理専門医資格を担保した基礎研究医育成：筑波、自治、獨協 野口 雅之 (筑波大学医学医療系 診断病理学) SY2-2 福島関東病理法医連携プログラム『つなぐ』：東京大学、順天堂大学、福島県立医科大学 橋本 優子 (福島県立医科大学医学部病理病態診断学講座) SY2-3 病理・法医学教育イノベーションハブの構築 池原 謙 (千葉大学大学院医学研究院腫瘍病理学) SY2-4 研究力と実践力を備えた法医学者育成事業について 井濱 容子 (横浜市立大学) SY2-5 名古屋大学における研究医養成のとりくみについて 黒田 啓介 (名古屋大学医学部学生研究会)		北川 昌伸 (東京医科歯科大学) 落合 淳志 (国立がん研究センター 先端医療開発センター)
12:30	ランチョンセミナー 4 会場：大ホール 複雑なコンパニオン診断時代における病理医の役割 谷田部 恭 (国立がん研究センター中央病院病理診断科) 座長：室 圭 (愛知県がんセンター) 共催：小野薬品工業株式会社	ランチョンセミナー 5 会場：大会議室 101 進行・再発乳がんにおける免疫チェックポイント阻害剤 尾崎由記範 (虎の門病院臨床腫瘍科) 進行・再発乳がんにおける PD-L1 検査の留意点 - テセントリクを適切に用いるために 小塚 祐司 (三重大学医学部附属病院病理診断科) 座長：津田 均 (防衛医科大学校) 共催：ロシュ・ダイアグノスティック株式会社/中外製薬株式会社	ランチョンセミナー 6 会場：大会議室 102 中皮腫診断の進歩と中皮腫瘍取り扱い規約 廣島 健三 (千葉大学大学院医学研究院) 悪性中皮腫の現状と患者救済 岡 輝明 (公益財団法人結核予防会 複十字病院 病理診断部) 座長：相田 真介 (国際医療福祉大学三田病院) 共催：独立行政法人環境再生保全機構
13:40 ㊦	病理診断特別講演 重症心不全を呈する循環器疾患の病理 心筋生検を中心に 植田 初江 (国立循環器病研究センター病理部)		今中 恭子 (三重大学)
14:40	特別企画 睡眠覚醒の謎に挑む 柳沢 正史 (筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構)		加藤 光保 (筑波大学)
15:40	シンポジウム 3 「ゲノム生物学は人体病理学をどのように変えられるか？」 SY3-1 人工知能による病理組織像の汎用的な数値化 石川 俊平 (東京大学医学部・大学院医学系研究科衛生学分野) SY3-2 病理学とゲノム科学の蜜月 柴田 龍弘 (東京大学医科学研究所) SY3-3 急速進行肺腺癌を認めた一剖検症例の遺伝子解析 浜本雄一朗 (大阪国際がんセンター病理・細胞診断科) SY3-4 卵巣高異型度漿液性癌における microRNA 発現状態の網羅的解析 刑部 光正 (岩手医科大学医学部病理診断学講座) SY3-5 膠芽腫における“DNA 低メチル化形質”の制御機構と意義 増井 憲太 (東京女子医科大学病理学・病態神経科学分野)		河野 隆志 (国立がん研究センター研究所) 梶村 春彦 (浜松医科大学)
17:40 ㊦	教育講演 医療事故調査制度と病理医の役割 鈴木 利廣 (明治大学・学長特任補佐)		小西 知世 (明治大学)
18:40	閉 会 の 辞		
19:00	コンパニオンミーティング 第 10 回妊産婦死亡症例病理カンファレンス (大会議室 101) 日本肺病理学会 (JPPS) コンパニオンミーティング (大会議室 102)		

㊦…診療領域別講習対象講習会 (日本専門医機構 更新基準) 1 単位分の受講証を配布します。